

緊急

四二〇

受信〇四四〇
開始〇五二五〇

譯了〇六四〇 電一〇九二三

作 續

● 新竹航空基地

1185

昭和廿年四月廿日



● 五基地航空部隊、高警

機密第一九一七二七番電

一、一三一四ヨリ一四一〇ヲテB-I二四 五〇機宛一六度方向ヨリ小編隊
ニテ逐次新竹基地ニ侵入主トシテ基地周邊飛行機掩体航空廠新竹驛及
郊外工場地帯ニ對シ雲上ヨリ爆撃（四〇キロ乃至六〇キロ）二三〇度
方向ニ退去

三、戦果ナシ

三、被害戦死四名戦傷三名

四、其ノ他燃料廠、航空廠被害ナシ驛半壊上下共不通死者一七 負 傷者相
當アル見込。

通一二四三三

呂一Bケ七（四五七二、五K）高二放

傳崎（鹿 田）

四一九 受信二〇四五

譯了三二三〇 電一〇七四六

作本

昭和廿年四月廿日



北東方面部隊戰況概報着信監所

機密第一九一八一三番

共

符

1186

北東空第一占守基地戰況概報第五七號(四月十九日)

陸攻延三機ヲ以テ〇八二〇ヨリ一〇〇〇迄及一三一〇ヨリ一六四

五迄第四區ノ對潜哨戒並ニ一ツ九〇一ノ船團直衛ヲ實施異狀ナシ

天候曇 雨量一〇 雲高五〇〇 風速九米 視界三〇軒

通一二二四〇

天二Bケ八(B)大湊

田中(阿部)

14/2

四 被害

- (イ) 三〇二空雷電三機自爆
- (ロ) 三〇二空雷電二機被彈炎上戦死一重傷二
- (ハ) 高座廠附屬建物二棟被彈炎上重傷三名
- (ニ) 其ノ他輕微。

人

1413

四一九 受信二一四六 譯了二三三〇 電一〇七八六 作 概〇
譯始二一四五



● 内南洋部隊戦闘概報着信艦所

● 共

符

1188

機密第一九一八四五番電

U N B 戦闘概報 (四月十九日)

一 二〇〇 B 二四 十七機 P B A 方面より來襲ニ對スル爆撃戦果ナシ
被害防空壕直撃ニ依リ第十四航空艦隊司令部附戰死一七名敵ハ動
信管ヲ使用シテ徹深度大トナリ防空壕滑走路等ノ被害大ナリ

通一二二五三

呂一Bケ七(四四九七、五KG)四通放

福山(高橋)

昭和廿年四月廿日

至 急

受信 〇〇四五六

了 〇五五五

〇〇九九〇七

作 嵐

昭和四年四月廿日



二五根戦艦編組通信機所

通報 雁純長 (航空隊) 第五警備部隊戦艦編組

二分ノ二

四月十七日乃至十九日アンボン附近敵機來襲状況

一十七日雉ハアル島兩方海上ニ於テ一〇三九及一二三五各B一二四

一機ノ偵察攻撃ヲ受ケ一七二一アンボン燈台ノ二二〇度五〇射附

近ニ於テ敵B一二四 五機ト交戦

二十八日〇六一九B一二四 一機「アンボン」偵察〇八二〇一ニ

四五B一二四 一二機機主機ボ一フアイター二一機主トシテアン

ボン島兩方洋上偵察

通一二四一九 一二四二五 呂一Bケ七 (六一二三五K) 二二通 末光 (上野)

1189

五五日戦闘 艦報 其ノ

本日ハ八ロシノ南等攻撃戦果トボトフアイター一機撃破

被害 戦死ニ輕傷ニ一三二七一四〇七五二九八機アン

ボシヲ綿密ニ偵察本日敵ハ明ニアンボシ攻撃ヲ企圖セルモノト

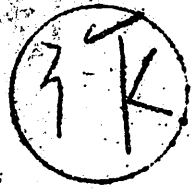
認ム

英十九日〇八三五一〇九〇六ボトフアイター二機アンボシ北部偵

察

昭和四年四月廿日

四二〇 受信開始 〇〇五〇三〇二 了 〇五四五、電 一〇〇九九一七六 作 稿



二二根 戰術概報着信艦所
二二根 サマリシタ 派遣隊

一九一 一九五二

通報 司令部 一〇一 燃廠長 一〇二 施設部長

其ノ一、其ノ二

第二警備隊 戰術概報 (四月十九日)

一〇三五ヨリ 一二三〇ノ間ニ於テ B125、三機 B124、九

機來襲「リンカス」海岸線及原住民部落(油田地帯内燃料廠工

員宿舎)等ニ銃爆撃シ各機數回上空旋回後北東ニ去ル

三 戰果ナシ被害燃料廠原住民宿舎全燒四半機一三船員悉日本人各

一名重傷家屋全壊二其ノ他ナシ。

通 一二三五九 協作 (六一二二、五 RC) 二一 通 池阪 (小澤綾) 西野

1190

昭和十四年四月廿日

四 二一九 受信 〇〇三三〇 譯了 〇〇五三 電自 一〇八四六 航作 概 〇
二一九 譯始 〇〇一六〇

作戰特別緊急

● 鹿屋航空基地



● 第一機動基地航空部隊天作戦部隊作戰命令着信機所

機密第一一九一九五三番電 三分ノ一、二三

一 K P G B 天信電令作第一七八號

明後二十一日列島線附近殘存敵空母群總攻撃實施要領左ノ通定ム

一、明二十日午後一一部隊ヲ以テ別ニ定ムル配備ニ依リ列島線南東方ヲ

索敵スルト共ニ明朝〇〇五五艦攻ヲ以テ適宜東海ニ行動シ平文偽電

ヲ發信

二、八〇一部隊ヲ以テ別ニ定ムル配備ニ依リ二十日夜間ヨリ二十一日黎

明ニ亘リ夜間哨戒ヲ實施シ敵空母群ヲ捕捉關東空夜戰隊ヲ以テ黎明

時之ヲ捕捉銃爆撃

一三三三三、一三三三三〇 呂一〇六七(七八七五〇) 一 K P G B 以

1417

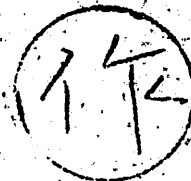
三、一、一部隊ヲ以テ黎明時敵ヲ捕捉スルト共ニ空母觸接ヲ持續電探欺瞞
 ノ實施別ニ晝間特攻隊ノ戰果偵察機ヲ派出戰果ヲ確認
 四、三四三部隊紫電隊ハ〇六三〇發進奄美、喜界島附近ノ制空ニ任ズ
 五、二〇三部隊國分部隊零戰隊ヲ以テ制空隊三波ヲ編成ス夫々天山誘導
 機ヲ附シ〇六三〇、〇六四五、〇七〇〇發進機動部隊上空ニ進攻概
 ネ〇八一五ヨリ〇九一五迄制空ス
 六、七二一部隊國分部隊特別攻撃隊ハ〇六四五ヨリ逐次發進概ネ〇八三
 〇ヨリ〇九一五迄ノ間ニ攻撃ス
 七、七二一部隊櫻花隊ハ〇六三〇ヨリ逐次單機發進〇八四五ヨリ〇九一
 五迄ノ間ニ攻撃ス
 八、七六二部隊九三一部隊ヲ以テ薄暮夜間攻撃ヲ實施ス。

NTF

四
二一九
〇〇九
〇〇三
〇〇五
〇〇六

譯了〇〇四一
電一〇七八四
作概〇

至急



● ● ●
聯合艦隊司令部
大海參一部

機密第一九二〇四七番電

發 NTF 參 謀

聯合艦隊機密第一八二三〇三番電 聯

〇B飛行偵察ノ爲十九日零戰一機出發セルモ發動機不調ニテ途中ヨリ
引返シ着陸時中破他ノ一機本日試飛行ノ結果不良ニ付同飛行偵察ハ二
十一日以後トナル見込。

通一二三三四 呂一七ケ七(一一八)八通

東(田中)

昭和四年四月廿日

1192

昭和四年四月廿日

四二〇〇 受信〇四二九 譯了〇五二〇 電一〇八八三 航作 本概〇

● 聯合艦隊口・一〇一航戰
● 大海參一部・横領
● 厚木航空基地

機密第一九二一三二番電

天

作

1193

第一〇八一航空隊戰鬥概報第一號

一 四月一日一〇一四ヨリ一〇三〇迄 P I 五一約一五機飛行場地帶統

擊

二 戰果ナシ

三 被害

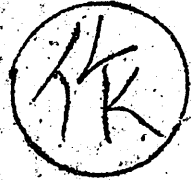
(一) 零式輸送機一機 (被彈炎上中破) (二) 重傷兵三名 輕傷下士官二名 兵一名

編一二四〇〇 呂一Bケ七 (一六四〇KC) 横通 福島 (高橋)

1420

昭和四年四月廿日

四 二〇 受信〇〇三一七 譯了〇五一五 電一〇〇八九三 作 概
譯始〇四〇五



二六 根戰團概報着信監所。三南遣艦隊各口

機密第一九二二二三番電 二分ノ二

六五 戰團概報十九日

一〇九〇〇單發八タル銃爆撃〇七四五 一八〇〇單發各二カウ灣

制壓戰果被害ナシ

ニタルハ出港〇六三〇 大型四 小型二〇 海上トラツク一三 上陸

用舟艇八 一八〇〇 小型 針路執レモ東入港〇七三〇 大型

一〇 中型二 碇泊一八〇〇 大型二 中型一 小型一 大型油槽

船一 大型病院船一 五海上トラツク一三 五 六 上陸用舟艇大型一

一 普通二〇 外ニ視認不能ノモノアリ 昨日ノ碇泊狀況ヨリ判斷大

型 七 中型二 昨夜出港セルモノノ如シ 輸送船ノ動キ活潑ナリ

三 夕イ發進針路北乃至西 大型二 小型二 計二四

通 一二四一三 呂一 五ケ七 (六一二二・五K) 二一 通 原野木 (志田)

1421

1194

四二〇 受信〇九四七 譯了二一五〇 電一〇九七 作 秘〇

昭和四年四月廿壹日



東京通信隊

根

1195

機密第一九二一四一番電

宛 軍令部第三部長

日甲工作ニ關シテハ一〇二二空司令ヨリ機ニ三機ヲ停止スベキ旨

通知(三月サイゴン海機密第〇四〇一四八番電)シアリタルモ「天」作

戦ノ経過ニモ鑑ミ依然作戰基地トシテ當地施設ヲ活用スルヲ可ト認メ引

續々實施中ニ付工作發送付ヲ得度

追テ其ノ^反響ニ關シテ從來當地ニテハ適確ナル資料ヲ得ラレザルニ付中

央ニ於テ之ガ差支ノ要否ヲ決定アリ度。

通一二四七九 呂一〇ケ七(一七五九〇)十通 山下(川口)

四二〇 受信一一四〇一 丁一三〇〇 留一〇〇〇 概



父島根戦國概報着信監所

機密第二〇〇八四五番電

父島方面特別根據地隊戰國概報(四月十九日)

一〇九三六四一四迄五回哨戒機ヲシキモノ本島周邊ヲ通過來襲

セズ

一九五〇ヨリ二十日〇三四一迄六回敵大型機若ハ夜間ヲシキモノ來

襲回數トシテハ未曾有ノ嚴重哨戒ナルモ父島ニ侵入銃撃スルモノ

ハ四回ノミナリ哨戒ハ父島及母島間ヲ飛來シ特ニ敵機ニシテ外ニ一

部軍島父島間ニ及ブモノモアリ

三戰果被害ナシ

通一二五二一四 留一〇ケキ(一六四〇〇)機密

特川(正)

昭和四年四月廿五日



局長							
主任							

四
二〇
二〇
譯始〇二二〇〇一
轉了〇三三〇
電一一三四三
一一三〇〇

昭和廿年四月廿五日
作 概

海上護衛總部隊各口・南西方面艦隊口・支那方面艦隊口
第二遣支艦隊口・第一航空艦隊口・海南艦・臺灣空・馬公根
佐領・高雄警・高通第一分遣隊・基隆防備部隊

機密第二〇一〇番電 二分ノ二

十八日敵機來襲狀況

一〇一〇〇ヨリ大型機一機淡水北方ヨリ新竹高雄地區ニ侵入投彈
一〇九五〇ヨリ約三時間ニ亘リB1二六 六B1二四 三七前方ヨリ

臺中新竹地區ニ侵入飛行場及市内ヲ銃爆撃

一〇四五ヨリ一三二〇迄B1二五 七B1二四 一七P1三八 六

東海岸ヲ北上花蓮港地區ニ侵入市内及船舶ヲ銃爆撃

一三二七〇 一三二七二 一三二七三 一三二七四 一三二七五 一三二七六 一三二七七 一三二七八 一三二七九 一三二八〇 一三二八一 一三二八二 一三二八三 一三二八四 一三二八五 一三二八六 一三二八七 一三二八八 一三二八九 一三二九〇 一三二九一 一三二九二 一三二九三 一三二九四 一三二九五 一三二九六 一三二九七 一三二九八 一三二九九 一三三〇〇 一三三〇一 一三三〇二 一三三〇三 一三三〇四 一三三〇五 一三三〇六 一三三〇七 一三三〇八 一三三〇九 一三三一〇 一三三一〇

1197

一、一五三ヨリ一五〇〇迄 B1124 B1125 P138 六 P151 七

東海岸ヲ北上宜爾飛行場及蘇埴港内ヲ銃爆撃

一、一一五小型機四東吉嶼ニ侵入一三〇〇大型水偵一機小型機二機東

吉嶼南方洋上ヲ旋回脱去セリ

一、二一一八富貴角北方ヨリ大型機一機西海面ヲ南下臺南ノ南西海面ニ

投弾

一、戰果蘭甌地區ニ於テボイオンダ三機墜四機撃破

一、被害

陸軍側宜爾ニテ戰鬪機炎上九中破二湖古ニテ靖國丸交戦自爆民間側

發動機船數隻炎上機帆船一隻沈没彰化市家屋破壊炎上三四死傷者七

一名貨車六中破臺中市家屋破壊炎上九三

四 二〇 受信二〇〇一〇二 譯始二三〇〇〇 二一 譯了〇九〇〇 電一一〇〇〇 作 概

昭和廿年四月廿壹日

第八空襲部隊戰術概報着信終所

一 護衛 艦隊

二 一 根



1198

機密第二〇一五〇三番電

第三八一航空隊戰術概報(四月二十日)

- 一 二〇〇 B-I 二四 二一機 P-I 三八 三機來襲零戰三機ヲ以テ攻撃
- 一 二〇〇 一〇機ハ第一飛行場 二機ハ第二飛行場ヲ爆撃
- 一 戰果ナシ
- 一 被害

(イ) 第一飛行場滑走路被弾三發二十二日以後使用可能ニ復舊ノ見込零戰 一機小破

(ロ) 第二飛行場滑走路被弾一八發分使用不能兵舎倒潰二棟外人員異状ナシ。(東通註 本電誤字ノ爲遅延) 一三 一五 一七 (六一二二) 一七 一七 石川(三石)

昭和廿年四月廿四日

四二二三 受信〇二〇二二 開始〇二四四五 了〇三五五 電一二四五三 作 機

海防隊 二二海防隊



一 海防隊 隊口・一〇二戰隊△・第三哨戒部隊(AS作戦部隊)
海防隊口・九〇一航空隊△・舟山島航空基地AS三部隊
第六哨戒(AS)作戦?

1199



機密 二〇一七〇二番電 二分ノ一

海軍第三哨戒隊指揮官

七 緯三〇 経五分 東經一二二度五十分ニ於テ海八母三二沖繩ノ攻撃ノ海
八 緯密第一四一六三六 緯同 一四二三〇七 番電(ニ依リ敵艦一隻ヲ撃
沈セルルコト確信ナリ十九日付報海面攻撃ノ結果存疑ノ荒天ノ爲油價高
升均ナリシモ手廻ニ依リ機密第一四一六三六。

吉川(松山藩)

昭和廿年四月廿壹日

四二〇 受信二〇三七 開始二〇二五 電自二〇三五 作概 1200

緊急

共

符



中支部隊

海上護衛總口。支那方面艦隊口。護衛艦隊口。二戰隊

核密第二〇一七四一番電。三分

中支部隊電令作第一號

G 2 3 電令作第四四九號

大揚子沙推附近ノ哨戒要領左ノ通定

哨戒隊余山及花鳥山燈臺ノ北二〇渾河通

度線ノ以東ノ區域

哨戒指揮官及使用設置二一驅潛隊司令驅潛艇三八驅潛艇二三

保二於今ノ修理完了後成

通二二六七六 天二日夕八〇四五〇上陸通 筒井吉井

二六九四

○（船團護衛終了後速ニ門司ヨリ合同）

三 哨戒要領哨戒帯ノ南（北）端及東經（二）四度線ヲ右（左）廻ニ晝
間移動夜間適宜敵情ニ應ズ 航空機ト協力出現潜水艦ノ掃蕩殲滅

ニ任ズ細目ハ哨戒指揮官所定

四 飛行哨戒ニ關シテハ別ニ支那方面艦隊一空司令官協議後令ス

五 本令ノ發動期ハ二十三日○○○トス。

（東通註 本電誤字多キ爲遲ル）

人

作戰緊急

四 二二〇 受信二二三七 譯了〇一四五 電一〇二九四 航本 概本



聯合艦隊司令部
パンシヤル
一三各航空艦隊各口
ダバオ各航空基地

機密第二〇二一〇八番電

發 總司令官

通電先 一三航艦 G F 一航艦 ダバオ基地 パンセルマシン基地
大本營 司

威參一電第二一號

威作命甲第五〇四號要旨

一三△F司令長官ハ一A Fト協同シ速ニ「レイテ」島方面舟艇特ニ同島
周邊ニ於ケル敵機動部隊ノ情況ヲ偵察スベシ

通一二八一七 天二B (六二三三K) 一〇通 奥山(吉田)

昭和二十一年四月廿壹日

1201

四 二一 受信一五四五 譯了一八二二 電一一九〇三 東海
譯始一六四五



帝國船團（船舶）全部

下關防備隊

大海參一部・吳鎮・佐鎮・神戸在勤武官・吳防艦
鎮警・十艦隊・門司在勤武官（電信所）・若松在勤武官

機密第二一〇七三五番電 其ノ一、二

通報 鎮海、博多各武官府

一、最近下關海峡西口通峽船舶ニシテ掃海水道外ヲ航行シテ觸雷

被害稍當數アリテ甚ダ遺憾ナリ

二、各船舶ハ出港前各武官府海軍官廳等ニ於テ徹底的ニ水路ノ指示

ヲ受クルト共ニ掃海水道ノ中央ヲ航下スル如ク艦位ノ保持ニ努

ムルト共ニ航海常直勤務ヲ嚴密ニスベシ

通一三一六五 佐日（九八三〇） 佐二放 半澤（吉井）
一三一八〇

昭和廿年四月廿三日

三 胸雷シ被害輕微ノ場合之ニ對スル應急處置適切ヲ缺キ甚ダシキニ
至リテハ過早ニ總目退去自船ヲ放棄スル等屬ニ無責任極マル船舶
アリ猛省ヲ要ス

四 下關海峡附近ニ於ケル航行艦船並ニ水路嚮導ニ任ズル監視艇及見張
所左ノ如シ

(イ) 部崎泊地

(ロ) 六連東方一軒

(ハ) 第一水道 (C.E.F.) 中間

(ニ) C.E.F. 站

(ホ) 蓋井 (島) (ゲンジヨ、シラセ) 角島、六連見張所。

四 二二 至 急

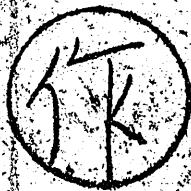
受信一〇五五 譯始一二三〇

譯了二三一五

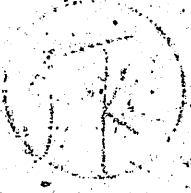
電一一六六三五

作 本〇

母島警備隊



運輸本部・大海一部・海上護衛總口、
聯合艦隊口、吳通・佐通・沖根



1203

機密第二一〇七五五番電

二分ノ二

宛 横須賀鎮守府參謀長 海上護衛參謀長

受報者 吳鎮參謀長 佐鎮參謀長 聯合艦隊參謀長

病院船納丸ニ便乗母島ニ着任シタル車醫ノ所見ヲ案スルニ敵機ハ病院

船ノ父島ヘノ航海中晝夜七回ニ亘リ超低空ニテ船上ヲ偵察シタルモ攻

撃セズ又父島方面ヨリ空襲アリタルモ病院船ニ近寄ルコトヲ幸點ヨリ

シテ敵カ若シ沖繩方面ヨリ退去スルハ病院船ヲ多數使用一タンケルク

ノ二ノ舞ヲ避ケンカ爲ノ固トモ見ラレル我カ方ノ沖繩方面ノ補給其ノ

他ニ病院船ヲ豈同航海セシムル如ク使用セバ利用スルヲ得ルカト思料

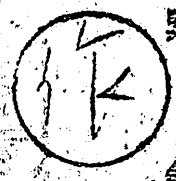
セラレ

海一三〇〇七 一三〇五五 呂一Bケ七 (一〇二〇〇K)

母警 石川 (新井)

四二二 受信開始 〇二〇一八 譯了 〇三三三〇 電一 一八七二 作 概

緊急



一機動基地航空部隊戦闘概報着信艦所

出水空基地

機密第二二一〇三一番電

基地戦闘機隊戦闘概報第三號 (四月二十一日)

〇六〇〇零戦一匹機進 撃ノ爲發進〇七一五出水上空B一二九八

機〇七二五鹿兒島上空B一二九 二六之ヲ攻撃戦果撃破B一二九二

機(以上何レモ撃墜スルニ至ラス)被撃不時着炎上一機 (S三一一搭

乗員戦死)不時着大碓一機未歸還一機(谷田前空梅本大尉)被撃一機

通一三五〇一 呂一Bケ七(七八七五RC)一KFGB

山下(川口)

1204

K

四二一 受信一八四一〇 了一九二〇 電一一七〇三 航作本概〇

緊急 符



航大 本 海・横空・第五航空艦隊 第二技術廠

機密第二一一二五七番電

1205

發 第八〇一航空隊司令

最近敵夜間戦闘機ノ跳梁甚シ夜間哨戒機ノ之ト交戦後未歸還トナルモノ多ク特ニ月明時ニ於ケル被害存スルニ至リ作戰遂行上大ナル障害トナリツツアルヲ以テ全周ニ亘リ有效ナル對機見張用電波探信機ノ研究實驗並ニ之ガ夜間偵察機(一式陸攻及飛行艇)ニ對スル裝備供給ニ關シ 至急施策方御配慮ヲ得度。

通一三二七二 呂一自々七(七六〇五) 鹿屋基地田中(福田)

四二一 受信二〇二〇 譯了二一五〇 電電一一七五二 作概〇
緊急



● 大海參一部長
● 鹿屋航空基地

● 佐領・吳領・五航空艦隊口・九州航空隊

機密第二一一三二二番電 二分ノ二

發 GF參謀長

現ニ南九州ニ展開中ノ陸軍兵力ハ大不足之ガ爲同方面海軍航空基地配備
豫定ノ海軍守備兵力ハ最緊急配備スルノ要アル處大海幕ニ機密第三三五
號ニ依レハ右守備兵力ハ基地部隊ヲ主トシテ編成スル如ク計畫サレアル
通 一三三三四三九 呂一B々七(七六〇五KO)鹿屋 大石・宮田(木 下) (-)



七 基地部隊、目下基地ノ維持強化ニ忙殺サレテ殆ド兵力編成ノ餘力
 ナキニ付南九州航空基地配備豫定守備兵力ハ鹿屋二箇大隊宮崎一箇大隊
 ハ佐世保及吳嶺擔任地區守備兵力中ヨリ捻出配備ノコトニ變更方取計ハ
 度。

作

四二一 受信一八四五 開始一八四五 終了一九四九 電一八九〇六

航概 本本〇

昭和廿年四月廿參日

五航空艦隊下・九州空・六航空派遣通信隊處理

大海参一部・佐領部隊

二一〇一三二七

1207

通報 六航空軍第二總軍西部軍第五七軍

聯合艦隊電令作第六四〇號

第五航空艦隊司令長官ハ、第一二空種子ヶ島派遣隊ヲシテ陸上作戰ニ

關シ所在陸軍部隊指揮官ヲ指揮ヲ受ケシメ且左ヲ實施セシムベシ

一 所在一二機砲四門ヲ對地上戰團（内二門ハ馬毛島制壓用）ニ特用

二 種子ヶ島飛行場ノ破壞準備（破壞時期五Aヲ長官所信ニ一任ス）

ヲ行フ。

通一三二二六

協作（七六〇五九） 航空基地

佐藤（上野）

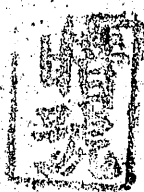
人

1439

四二二
受信〇五二〇
開始〇五五七〇

譯了〇六一五
電一八九三五

航作概本〇



- 一機動基地航空部
- 一機動基地航空部

鹿兒島空基地

機密第二一四一二番電

今朝上空通過大型延三〇機飛行場北側ニ數個、時限爆彈投下ヤリ既ニ
 爆發ヤルモノ一未ダ爆發ヤザルモノ二一三發ニシテ危險區域ハ旗ヲ
 以テ表示シアリ右以外飛行場使用差支ナシ戰果報告ナシ。

通一三六〇ニ

於一五(七八七五)一KFGB放

波(河田)

1208

昭和廿年四月廿日

今

四二一愛信二二二一... 款了二二七... 宅二二七八... 作...
款始二二二一... 在泰武官

1209

昭和廿年四月廿日

作

着
軍務局... 部軍令部...
二南... 部...
二特根P... 二特根P...
機密第一二二五三一... 番...
番電... 閣...
泰海機密第一二二二八... 番電... 閣...
六日... 被... 詳...
一第一海軍倉庫... 全... 為... 綱... 甲... 燒... 至... 機... 密... 二... 台... 金... 燒...
二第二海軍倉庫... 棟... (二七〇〇平方米) 內容... 七... ト... 五... 六...
不... 造... 船... 用... 貨... 箱... 一... 〇... 噸... 何... 七... 八... 部... 分... 再... 用... 可... 能...
網... 製... 造... 他... 一... 般... 貨... 箱... 各... 部... 委... 託... 購... 買... 品... 共... 燒... 〇...
約... 五... 〇... 〇... 萬... 圓...
三... 人... 員... 異... 常... 十... 〇...
通... 一... 三... 三... 九... 二... 天... 二... 六... (一七五九〇kg) 十... 通... 一... 中... 初... (程... 西...)

四 二一 受信二〇四一 譯了二二二一〇 電一一八〇〇七六
譯始二一二五

植股◎ 昭和廿年四月廿六日

◎ 佐世保通信隊
◎ 吳 滿 信 隊

共 符

機密第二一一五五一番電 二十分ノ一

發 佐世保海軍軍需部 兒島支隊長

宛 佐世保海軍軍需部長

通報 軍需局長 佐鎮參謀長 聯合艦隊參謀長
軍令部第二部長

最近ノ情勢並ニ戰訓ニ鑑ミ最悪時長期戦ニ備ヘ當支部補給ノ完
了期センガ爲南九州地區各部隊用軍需品保管ニ關シテハ凡ソ一箇
月分ヲ標準トシ各部隊ニ保管セシメ外ニ約三ヶ月分以上ノ出來レ
ハ一ヶ年分ヲ安全且輸送上便ナル地ヲ選ビ南九州ニ於テハ入吉

通一三三三五六 呂一〇七六〇五五 KORO 五 A F P

1210

1442

方面北九州ニ於テハ日田方面ニ半永久的保管ヲ爲スヲ急務ト認
ラルルニ付至急然ルベク御取計ハレ度

(2)

作

④

南東方面部隊戰鬪概報着信艦所

機密第二一七〇四番電

④

通

四
二二
受信 〇〇二一〇〇
譯了 〇四〇〇
電一 一八七三
作
概

1211

R X 方面防備部隊戰鬪概報第四六二號(二十日)

一 R X P 〇四四五一〇六二〇 F 四 U 各二機偵察 〇七三〇 B 一 二五 五機

機 Q B U 一 〇 〇 〇 F 四 U 二機砲臺銃爆擊

二 戰果中 被害戰死一輕傷三 七糧野戰高角砲二五耗聯裝機銃各一使用
不可能。

通一三四九〇

呂二 B ラ一八(五二二五 K O) 八通

竹中(渡邊)

作

至急

四二二

受信〇〇八五九

譯了二二二七

覽自一二三四六

作概

海南警備府

東通・支那方面艦隊

一五警

機密第二一七二〇番電

五分ノ二三三四五

發 參謀長

宛 軍務局長 支那方面艦隊參謀長

通報 第十五警備隊

軍務機密第〇九一八五六番電關聯

海南特務部政務處理及戰時態勢ノ整備ハ實電ノ主旨ニ基キ別紙(2)
ニテ處理ノコトニ定メラレ現ニ實施中ナリ要旨左ノ如シ

一 政務處理

(1) 資源開發ハ本島ノ自活態勢ヲ目途トシ

(2) 食糧ノ生産取得貯藏ニ主力ヲ注シ

通 二三六六三・二三六六四・二三六六五・二三六六六・二三六六七

呂一Bケ七(二四九三〇C)上陸

片山 馬場 甲田 (玉谷) 1

昭和廿四年四月廿五日

1212

糧食生産隊（機密海警命令第四〇號）ヲ編成シ糧食生産ニ當ラシムル生産指導其ノ他軍需資材ノ（軍事的）生産指導ニアリ尙水晶及タンクスステンノ開發ハ出來ル限り續行ノ爲臨時ニ機密海警命令第八〇號ノ處理方策ヲ講ズ（一部ハ糧食生産隊ニ編入又農業報國團ヲ結成セシメタリ）

(ロ) 情報宣傳防諜ノ強化

(ハ) 現下ノ情勢ニ即スル諸準備完成半途ナルモ臨時政務部ノ適切ナル指導（詳細切換）

(ニ) 島内敵匪歸順工作ノ促進（詳細切換）

ニ戰時態勢ノ整備制度其ノ盤存續スルモ食糧増産部内ノ編成並ニ所掌保持ヲ臨時變更非常事態ニ即應シ現地速決主義ヲ強化ス

(イ) 特務部本部ニ食糧増産本部 支部ニ食糧増産部ヲヨリ設置ス

(ロ) 暫時案ノ通政務職員ニ適ハル如ク食糧増産職員ノ配置換ヘヲ行ヒ重點的ニ陣容ヲ強化ス

(ハ) 島内交通増加ノ状況ト現地速決ノ要請トニ鑑ミ所要ノ人員ヲ所要

ノ地ニ派遣ス

(二)臨時檢疫所ハ其ノ事務ヲ中止

(三)警防隊(昭和十九年機密海警命令一〇二號ニ依ル)ハ防衛ニ關

シ現地警備隊ニ協力又ハ區處ヲ受ケシム

(四)各支部ト特陸トノ連繫ヲ一層密ナラシム如ク措置ヲ講ス

三、外敵邀撃作戰ニ於ケル處置ニ付テハ爾今作戰計畫(機密海警備

府命令作第七號)及後送書類參照セラレ度。

誤作成ノ爲遲延

昭和廿年四月廿日